

平成 30 年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(理事会 幹事会 運営委員会)
(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会/幹事会の開催

平成 30 年度第 1 回理事会/幹事会 (平成 30 年 5 月 10 日開催)

- ・平成 29 年度 収支決算承認及び総会への付議承認
- ・平成 30 年度 収支予算 (案) 承認及び総会への付議承認
- ・平成 30 年度 役員選任の件

(2) 理事会

第 2 回 理事会 (平成 30 年 12 月 5 日 開催)

- ・平成 30 年度 事業活動中間報告 (各委員会状況)
- ・平成 30 年度 今期着地見込み及び来期計画策定に係る要素について (報告)

(3) 運営委員会

平成 30 年度 運営委員会 (平成 31 年 2 月 20 日開催)

- ・平成 30 年度事業報告が各委員会から報告された。
- ・平成 30 年度収支着地見込みが事務局より提案、検討された。
- ・平成 31 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会より提案、検討された。
- ・平成 31 年度事業計画案に基づき、平成 31 年度予算案が検討された。
- ・平成 30 年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会及び第 8 回通常総会の予定が案内された。

(4) 理事会/幹事会の開催

平成 30 年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会 (平成 31 年 3 月 20 日開催)

- ・平成 30 年度 事業報告
- ・平成 30 年度 収支決算 (着地見込)
- ・平成 31 年度 事業計画 (案)
- ・平成 31 年度 収支予算 (案)
- ・平成 31 年度 役員交代 (案)
- ・第 8 回通常総会・懇親会開催の件

平成 30 年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(専門委員会)

(平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

安全規格部会 (4 回)、環境問題研究部会 (4 回) 外部委員会出席 (JEITA マルチメディア EMC 専門委員会、JBMA 第 108 委員会、電気用品調査委員会電波雑音部会)

事業報告

両部会による情報収集及び情報提供を通じて、各社製品への製品安全及び環境問題対処活動に活かすことができた。

主な情報交換の要点は次の通り

- ・ 安全規格
 - ・ IEC62368-1 附属書 E の通常状態の入力条件
 - ・ EU : EN62368-1 強制日の延期
 - ・ 英国 : EU 離脱に関する EU の対応
 - ・ 北米 : UL62368-1 強制日の延期
 - ・ 中国 : CCC マークの簡略化
 - ・ 中国 : 標準化法改正
 - ・ 中国 : 認証対象製品の改正と自己宣言方式の導入
 - ・ 韓国 : 電子楽器を供給者適合宣言対象に格下げ
 - ・ インド : BIS AV 機器の安全規格更新の延期
 - ・ インド : 市場監視方式の改正
 - ・ インド : BIS WEB サイト URL 表示要求
 - ・ チリ : 電圧と周波数
 - ・ 日本 : 経済産業省模倣サイトの注意喚起
 - ・ 日本 : J62368-1 を電安法技術基準解釈の別表第十二に採用
 - ・ JBMA 第 108 委員会出席報告
- ・ EMC
 - ・ GSO : EMC 規則 (案) と EU の意見書
 - ・ 南アフリカ : SABS EMC 規則
 - ・ 高調波規格改訂 IEC61000-3-2 第 5 版 (2018) 発行
 - ・ EMC Directive 2014/30/EU ガイド
 - ・ JEITA マルチメディア EMC 専門委員会出席報告

- 環境関連
 - 欧州
 - RoHS2：除外規定更新、次期制限物質検討
 - REACH：SVHC 更新（物質追加）
 - RAECH：ANNEX XVII フタル酸規制範囲の拡大
 - 中国
 - RoHS：強制品目確定（目録公開）
 - RoHS：適用除外範囲の設定
 - 米国
 - TSCA title VI 公布（実施時期の変遷）
 - CPSC 有機難燃剤規制の動向調査（規制物質と対象範囲）
 - Ca 州 Proposition65 警告表示に対する解釈
 - 州別難燃剤規制
 - 日本
 - JAMP 活動終了と chemSHERPA への移行
 - 化学物質管理ガイドライン第4版公開
 - その他
 - GCC RoHS の紹介（UAE RoHS との関連）
 - ブラジル RoHS の進捗報告

その他特記事項

EU ErP Lot7（外部電源）の改定案が TBT にて開示され改定が確実となりました。これにより欧州と北米とで異なる要求となっていた IEMP LEVEL が level 6 に統一できる見通しです。

また、現行 Lot7 の要求仕様（無負荷時待機電力）が足かせとなり、改定が滞っていた Lot6（standby&off-mode）の見直しも進むものと考えています。

※IEMP とは、International Efficiency Marking Protocol（国際効率マーキングプロトコル）の略称で Energy Star で取り決められたものです。

（2）MIDI 規格委員会

委員会 1 回、1.0 部会メール審議、技術研究部会 8 回、MIDI Developer Relations WG 3 回、FME-CI WG7 回、AMEI/MMA 合同会議 1 回、MMA 総会オブザーバー参加

【MIDI1.0 部会】

- ・ TSB #215 TRS-MIDI について、メーリングリスト上で付議、一部修正の上承認。
- ・ TSB #212 MPE 承認。(CA-034 / RP-053)

【技術研究部会】

- ・ MIDI1.0 から MIDI-CI を経て繋がる形での、次世代プロトコルの審議を中心に行った。MMA 側の仮称 “Next Generation Protocol” の仕様二案についてドキュメントレビューを行い、AMEI の支持する仕様を MMA に表明。“Next Generation Protocol” の名称決定について、様々な見地から検討を行い、AMEI/MMA 間協議を経て MIDI 規格委員会にて「MIDI 2.0」に決定し、名称決定ならびに今後のプロトタイプ開発や規格の実現に関して大規模なプレスリリースを行った。
- ・ 2019 年 MMA の年次総会にて「MIDI 2.0」に向けた AMEI の意向および MI ベンダにとってのメリット等をデモ・発表にて報告

【MIDI Developer Relations WG】

- ・ W3C 日本会議に参加し、情報収集活動を行った。
- ・ 2018 年の楽器フェアにて MIDI の新たな活用方法を紹介。
- ・ 8 月以降 Developer Relations WG は活動休止

【FME-CI (Future MIDI Expansion Capability Inquiry) WG】

- ・ MIDI-CI 規格 (CA-035) の成立を受け、MIDI 機器間ネゴシエーションの対象である Protocol、Profile、Property に議論を移行、当 WG としてはとくに Property について MMA との議論を進めた。
- ・ 2018/10/20 楽器フェアにて AMEI Seminar2018 を実施、そのなかで「FME の可能性について」と題して、一般向けに MIDI-CI の概要説明、デモを実施。良く準備して、内容は十分だったが、開催場所がフェア本体から離れており、課題を残した。
- ・ 2019 年 1 月 MMA の AGM の MIDI 2.0 Plug-Fest (接続検証会合)にて、AMEI から、MIDI-CI のプロパティ取得の実例をデモ。Web アプリからハードウェア楽器の音色取得を直近のプロトコル仕様に基づいて実施、成功。
- ・ 新規システム・エクスクルーシブ ID 会員事業について
 - ・ AMEI で新たにシステムエクスクルーシブ会員枠を設置する方向で検討しているが、申請・発行システムへの投資と工数の見込みが合わず、進捗なし。外部委託など、従来の枠を超えた発想が必要。

(その他報告)

- ・楽器フェアにてセミナー開催。
NAMMにおける AMEI/MMA 会議開催、MMA 総会参加
2019/1/23～1/29 の期間で NAMM2019 ツアーを実施。
今年度はヤマハ、ローランド、クリムゾンテクノロジーの3社、8名が参加。
AMEI/MMA オフィシャルミーティングならびに MMA 総会に参加。
- ・MMA の Technical Session にて、MIDI 2.0 について AMEI プレゼン実施
- ・MMA の Plug-Fest にて MIDI 2.0、MIDI-CI について、AMEI よりデモ披露
- ・MIDI 規格委員会副委員長／技術研究部会長の交代があった。

(3) 著作権・ソフト委員会

著作権・ソフト委員会：定例会 10 回(詳細別記)

毎月の委員会定例会を通じて情報提供、意見交換、決議を実施。

カラオケ部会：計 10 回

業務用通信カラオケに係る使用料問題等の検討(定例会 4 回)。

一般社団法人日本音楽著作権協会(以下、「JASRAC」)・株式会社 NexTone
(以下「NexTone」)との協議(計 3 回)および文化庁訪問(3 回)等を実施。

音楽配信部会：計 16 回

定例会(9 回)、NMRC 関連会議・協議への参加(3 回)、JASRAC との意見交換(1 回)
ネットワーク音楽著作権連絡協議会(以下、「NMRC」)を通じて音楽著作権管
理事業者との使用料協議、関連団体との意見交換を実施。

ソフト規格部会：計 9 回(WG 開催含む)

定例会および GCP-WG(同日開催、6 回)、海外ビジネス展開 WG(3 回)。

電子楽器に係わる知財保護、海外のビジネス等に関する調査研究を実施。

音楽電子出版部会：計 8 回

定例会(7 回)、一般社団法人電子出版制作・流通協議会(以下、「電流協」)
との意見交換会(1 回)。電子楽譜に関わる市場動向調査・新規ビジネス提案
企業からヒアリング実施。

一般社団法人著作権情報集中処理機構(以下、「CDC」)との連携

オブザーバーとして委員会定例会出席と NMRC 協議等に参加要請実施。

早稲田大学創造理工学部 AMEI 連携講座を開催(2018 年 10 月から半期)

事業報告

(全体)

- ・「新著作権法の施行に関するニーズ募集」を検討し、結論として意見提出を見送った。
- ・「文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会中間まとめへの意見募集」を検討し、結論として意見提出は見送ったが、著作物流通推進室に質問を行った。

(部会)

【カラオケ部会】

- ・ JASRAC との使用料規程第 10 節「業務用通信カラオケ」の改訂に関する検討。
- ・ NexTone との使用料規程の取扱いに関する協議。
 - 当協会加盟カラオケ事業者が締結する利用許諾契約について、以下のそれぞれの期間につき、暫定的な取扱いについての合意を各々形成し、かかる合意書を各々締結。
 - ① 2017 年 10 月 1 日～2017 年 12 月 31 日
 - ② 2018 年 1 月 1 日～2018 年 3 月 31 日
 - ③ 2018 年 4 月 1 日～2018 年 6 月 30 日
 - ④ 2018 年 7 月 1 日～2018 年 9 月 30 日

【音楽配信部会】

<対 JASRAC>

- ・ (先期よりの継続議題) ダウンロードサービスに関する最低月額使用料：
2018 年 10 月使用分より月額 5,000 円を 500 円と読み替えることで合意。
- ・ 送信部が動画配信サービスを行っている事業者宛に送付した、YouTube にアップロードされた動画を使用する場合の取扱い文書につき、来会の上説明を受けた。
- ・ 購入音楽データの「お預かりサービス」、延長について合意。
- ・ 音楽電子出版部会と連携して可視的利用に関する規程及び取り扱いを検討継続。

<対 NexTone>

- ・ ダウンロードサービスで JASRAC 徴収済みの楽曲について、NexTone が遡及徴収する際、両者の徴収率を合算すると 100%を超える場合があるため、都度確認を実施中。
- ・ NexTone の権利許諾システム「PlayN」のマニュアル不具合指摘、意見交換実施。

<部会全体>

- ・ 以下の情報共有を実施した
 - JASRAC からダウンロードに関する遡及徴収手続き開始の案内、JASRAC と NexTone の合算徴収率が 100%を超える楽曲、NMRC 拡大実務 WG の活動停止、JASRAC および CDC の報告実務等に関する各種情報。

【ソフト規格部会】

<部会/GCP-WG>

- ・ 著作権に関する調査研究、ビジネスに係る知財情報の共有として、以下を実施した。
 - 音楽教育を守る会と JASRAC との訴訟に関する情報交換
 - 文化審議会著作権分科会での審議内容に関する情報共有
 - 改正著作権法、PD 曲判定手法に関する勉強会
 - JASRAC 使用料規程に関する研究(演奏利用と BGM 利用の違いなど)
- ・ 電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討として、以下を実施した。
 - 違法複製/頒布などコンテンツ侵害事例と対処例の情報交換
 - 「AMEI は電子楽器内蔵コンテンツについてこう考えます」の改訂検討

<海外ビジネス展開 WG>

- ・ 海外の著作権制度及び集中管理制度を研究し (本年度はドイツ・イギリス)、ライセンススキームに関する情報および欧州連合の著作権法改正動向について情報を共有した。
- ・ 日本国内で展開している、もしくは日本国内で開始予定がある海外事業者のサービス

を検討し、著作権等管理事業者とも情報を共有した。

【音楽電子出版部会】

- ・電子出版制作・流通協議会との意見交換
 - 静止画 DL 違法化に関し、案件の背景を確認するため電流協との意見交換を実施。
 - 特に、静止画に楽譜・歌詞のコンテンツが対象となるかが焦点だったが、その後の情報収集にて、含まれる予定であることを確認した。
- ・今後の電子楽譜サービスの研究のため、コンテンツ制作ソリューションについて各社より紹介を受け情報共有を実施した。
- ・歌詞の著作権料率について検討を重ね、現時点での進め方を確認した。

【管理事業法研究 WG】（今年度は活動はなし）

その他 早稲田大学創造理工学部連携講座「国際コンテンツビジネスと著作権」開催

委員会定例会 開催日・議事一覧

日時	主たるテーマ	備考
① 4月12日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告	
② 5月17日 (13:30~15:00)	1. 総会実施報告 伊藤会長・水野専務理事・岩瀬理事・水谷理事が新たに就任 2. 事務局および各部会報告	
③ 6月14日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 ・ CDC が理事会設置法人に移行決議 ・ 音楽電子出版部会長に千葉 直樹氏 (株)ヤマミュージックエンタテインメントホールディングス) 就任	
④ 7月12日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 ・ NMRC 拡大実務 WG 活動休止	
⑤ 9月13日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 文化庁：新著作権法の施行に関するコース募集検討報告（意見提出見送り）	
⑥ 10月11日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. JASRAC 最低使用料協議合意	・ 楽器フェア 2018 (10/19-21@東京)
⑦ 11月8日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 ・ 楽器フェア実施報告	
⑧ 12月12日 (16:00~17:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会中間まとめへの意見募集対応	・ 忘年懇親会実施 (参加約 50 名)
⑨ 31年2月14日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 文化審議会著作権分科会の動向の共有	・ NAMMshow 2019 (1/24-27@米国 L.A.)
⑩ 31年3月14日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 楽譜利用に関するアンケート報告	

(4) 普及委員会

1. MIDI 検定事業

【平成 30 年度 MIDI 検定試験】

2 級 1 次、3 級筆記試験 (12 月 2 日実施)

受験者数 525(470)名 (3 級)、138(182)名 (2 級 1 次)

合格者数 276(297)名 (3 級)、96(139)名 (2 級 1 次)

1 級試験 (8 月 10 日～20 日実施)

受験者数 40(32)名

合格者数 26(9)名

2 級 2 次試験 (平成 31 年 2 月 16 日～18 日実施)

受験者数 71(88)名

合格者数 43(47)名

【平成 30 年度指導者認定講座】

4 級指導者認定講座の実施

東京 5/13 : 15(13)名

大阪 5/20 : 6(10)名

3 級指導者認定講座の実施

東京 7/15 : 11(12)名

大阪 7/22 : 7(8)名

2 級指導者認定講座の実施

東京 9/16 : 10(12)名

大阪 9/23 : 6(6)名

※()内は昨年実績

2. イベント事業

2018 楽器フェア(10/19～21)において MIDI 規格委員会・会員各社と協力し、AMEI セミナー企画・運営。

10 月 20 日(土)

13 : 00～ : Future MIDI Expansion の可能性について

14 : 30～ : 楽器を使ってプログラミングを学ぼう！

アナログシンセサイザー-prologue に搭載された
ユーザー開発機能

Scratch x ボカロ! STEM 教育における MIDI の活用

17 : 00～ : 電子楽器の過去・現在・未来

10 月 21 日(日)

11 : 00～ : 基本中の基本から始める MIDI 打ち込み講座

13 : 00～ : ABILITY2.0Pro バックトラック作成法

15 : 00～ : AI エンターテインメントの未来社会

上記 6 プログラムを実施。

普及委員会としても、「電子楽器の過去・現在・未来」セミナーを株式会社コルグ監査役三枝文夫氏と共に実施。

3. その他

- ・MIDI 関連告知の為、DTM ステーションに記事広告を掲載
- ・MIDI はまだまだ進化中。YAMAHA、Roland、KORG などライバル企業が共同で Future MIDI Expansion を策定。楽器フェアでその実例がお披露目に
<https://www.dtmstation.com/archives/52019803.html>

(5) 広報委員会

- 会報「AMEI News」編集会議 3 回（ 5 月 17 日、11 月 8 日、1 月 22 日 ）
- セキュリティー強化対策の検討会議 1 回（ 2 月 6 日 ）
- 会報『AMEI News』発行 3 回

- ◆ Vol. 65 2018 年 5 月 31 日 発行
 - ・ 第21回NAMMビジネスツアー報告
 - ・ MIDI規格委員会 FME-CI WG 報告
 - ・ MIDI検定試験実施結果報告
 - ・ AMEI会員名簿・第7回通常総会と懇親会開催のお知らせ 等
- ◆ Vol. 66 2018 年 8 月 30 日 発行
 - ・ 一般社団法人音楽電子事業協会第7回通常総会報告
 - ・ 平成30年度役員挨拶・役員名簿・組織図
 - ・ 平成30年度事業計画
 - ・ 製品安全・環境委員会環境問題研究部会報告-欧州ErP指令について
 - ・ AMEI会員名簿 ・2018楽器フェアAMEIセミナー開催予定告知 等
- ◆ Vol. 67 2019 年 2 月 7 日 発行
 - ・ 2018楽器フェアAMEIイベント開催報告
 - ・ 著作権・ソフト委員会報告
 - ・ MIDI2.0 発表
 - ・ AMEI会員名簿・MIDI検定2級2次試験開催のお知らせ 等

- AMEI ホームページ運営
 - ・ 委員会からのお知らせ
 - ・ AMEI NEWS
 - ・ AMEI 出版物
 - ・ 仕様書ダウンロード
 - ・ 会員専用ページ
 - ・ What's new、information
- セキュリティー強化
 - ・ WEB サーバーSSL(暗号化通信)の証明書の更新(2月)
 - ・ 個人情報の取扱状況確認 等